



MEMBERS
Aya KUBOTA (prof.)
Kourichi Ikeda (research fellow)
Hiroo Tanaka (research fellow)
Chihiro Morikawa (M2)
Misa LEE (M2)

漁村時代を物語る路地の町 浦安

URAYASU,
USED TO BE A FISHERY CITY

浦安 PJ の軌跡

A HISTORY OF URAYASU PJ



▲浦安市は、元町・中町（第1期埋立て）・新町（第2期埋立て）の3つ地域がある。その中でも浦安PJの主な対象敷地は、元町にある猫実・堀江地区。

浦安の中でも古くからの集落であった猫実・堀江地区は、漁師町として栄えた町だった。地域の真ん中に流れる境川にべが舟がつけられ、男性はそこから海へ出て漁を、女性・子どもは家の前の路地や近くの作業場で貝むき / 海苔すき作業をして生計を立てていた。

しかし、1949年のキティ台風で多大なる被害を被ったことが境川の護岸整備へと踏み込むきっかけとなった。さらに1958年の江戸川工場悪水放流事件を契機に漁業不振に陥り、1971年に漁業権を全面放棄後、東京への通勤圏という立地の良さもあって現在は住宅が増え、ベッドタウンの様相を呈している。なお当時の地割りは今もほとんど変わらない形態のまま残っており、木造密集市街地を形成している。

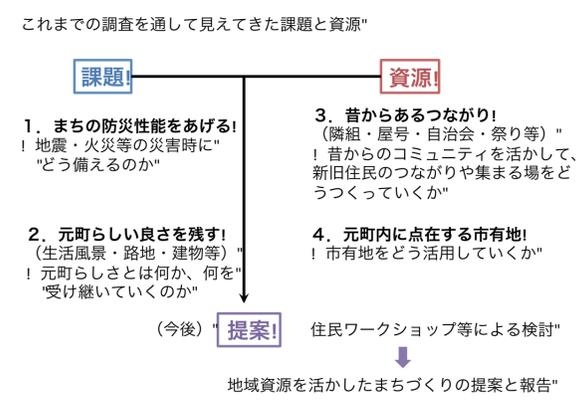


首都直下地震が危ぶまれている中で、同時多発火災等の突発性リスクを軽減させるための防災面の向上は、浦安市においても早急に対処すべき課題として考えられている。2014年には一部区画整理事業が完了し、地域の真ん中の道路が拡幅された。これにより以前に比べ災害危険度は減ったとはいえ、かつてのような外部空間も含めて生活が成り立つ暮らし方は薄れ、個々の生活が内に閉じていき均質化が進んでいる。このような進行性リスクからも目を背けず、防災上の課題にも対応できるような木密地域のあり方を模索していく。

日付	内容	作業等
4/14	キックオフミーティング	
6/2	現地空間調査 (徒歩+自転車で浦安市内)	
7/24	インタビュー：島村さん (郷土博物館学芸員)	
8/21	インタビュー：泉澤さん (猫実の住民、元消防団副団長)	
10/8	現地空間調査 (路地調査)	
11/2	事例調査 神戸市長田区駒ヶ林、東垂水	
11/26	インタビュー：早川さん (まちづくり事務所所長)	
12/20	まちづくり講演会にて報告 (元町住民の方へ調査内容を発表)	
3/15	浦安景観まちづくり講座にて報告 (埋立て地住民の方へ調査報告・提案)	

浦安 PJ のこれから

NEXT URAYASU PJ...



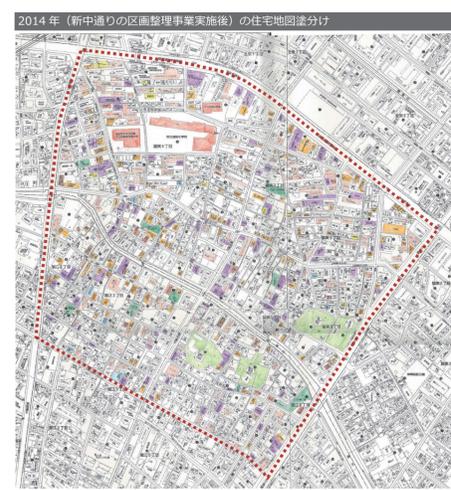
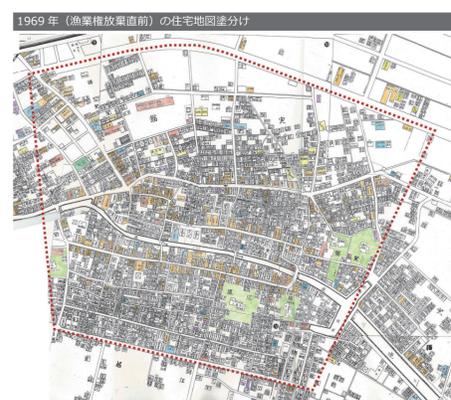
浦安PJは今後、対立しがちな資源と防災の両側面を充足させるために市有地を活用した木密地域のあり方を追究し、住民の方へ提案・ワークショップを通して計画をまとめつつ研究化していく。

土地利用の変容調査

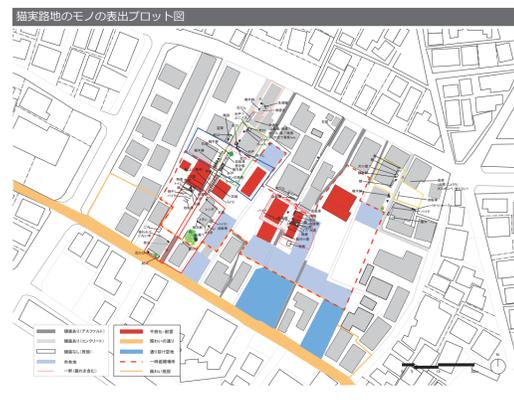
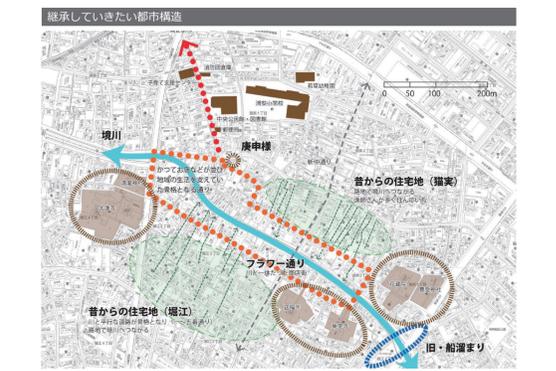
RESEARCH ON THE CHANGE OF
HOW TO USE THE PROPERTY

路地調査

ALLEYS SURVEY



1969年（漁業権放棄直前）、1991年（漁業権放棄後かつ区画整理前）、2014年（新中通りの区画整理事業実施後）の住宅地図を比較し、土地利用がどのように変化してきたのかを調べた。漁業権放棄前には地区内随所で見られた作業場や川沿いの造船所、銭湯といった漁業関連施設やフラワー通りからぐるっと回遊するような商業構造がかつては存在していたが、漁業権放棄後、徐々にそれは薄れていき、アパート等の住宅や駐車場等の空地が増えていった。この調査とインタビュー調査からこの地区には下図のような構造が重要だと考える。



猫実と堀江の路地のうち2箇所を対象として、表出している物や路地の舗装状況、アクセスの向きのプロット等、物理的調査を行った。猫実の路地は、貝殻の落ちている路地が多く残っている一方、堀江はアスファルトで舗装された路地が多く、路地沿いに塀がある場合が多い。表出の中には、井戸や水瓶等、漁村時代の名残と思わせるようなものや、植木や盆栽等、よく手入れされているもの、バイクや自転車、洗濯物といった日常的に出し入れされるもの等、数パターンが見られた。この調査から、漠然と感じる浦安の路地の良さを構成する要素が何なのかを明らかにするとともに、防災上の課題が何かをミクロな視点から明確にしようと考えた。例えば、植木の表出は人の生活が常に点では資源と考えられたとしても、防災上は避難を妨げることにもなりうる。このように資源と災害の両側面をもつ要素があることにも配慮したい。